

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス Love&Smile もあ			
○保護者評価実施期間	令和7年12月5日 ~ 令和7年12月19日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	令和7年12月5日 ~ 令和7年12月19日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月28日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	遊びの中でお子様の興味や関心を大切にしながら関わることで、安心して過ごせる環境づくりに努めています。そうした関係性の中で信頼が深まり、自発的な行動や表現の増加に繋がっていると感じています	お子様からの発信をしっかりと受け止め、職員間で一貫した姿勢で丁寧に応じるように努めています。また、職員間での情報共有を密に行い、支援の質が保たれるよう努めています	お子様の興味関心に合った関わりや支援内容をさらに探求し、個々の成長や表現をより自然に引き出せるような展開方法を模索していくことができるよう努めてまいります
2	コニーを導入したことにより職員の主觀に偏らず、客観的にお子様の課題を捉えることができています。共通の視点での理解が可能となり、それに基づいた適切な遊びプログラムの構築によって、効果的な療育支援に繋がっていると感じています	活動を通じて常にお子様の様子を観察・評価し、「できるようになったこと」「うまく取り組めないこと」「困っている背景」などを丁寧に捉えるようにしています。日々のお子様一人ひとりの様子を支援計画の立案に活かしています	療育の質をさらに高めていくために、職員一人ひとりのスキルアップを図るために勉強会や事例検討会、外部研修などを活用し、職員全員が同じような支援効果が得られるような体制を整えていくことができるよう努めてまいります
3	有効的な支援を行うことができるよう職員間での連携を密にすることができるよう毎日お子様一人ひとり情報共有を行うことでお子様一人ひとりの状況に応じた療育支援に繋がっていると感じています	職員間で日々積極的にコミュニケーションを取り合い相談し合うことができる環境を整えるよう努めています。また支援内容やお子様一人ひとりの様子について毎日情報共有しそれを基に具体的な支援方法を検討、実践するようにしています	よりお子様に寄り添い日々の様子に合わせた療育支援を行うことができるよう職員間での連携を行い体制を整えていくことができるよう努めてまいります

	事業所の弱み（※）だと思われる ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者交流会、ご家族様が参加する研修等の機会を設けることが現在できておりません	お仕事をされてる保護者様が多くいらっしゃるため平日の予定調整が難しいと考えています	保護者様へのニーズを行なご希望に応じて保護者交流会を検討していきたいと考えています
2	地域のお子様と交流する機会はありますが交流する時間は少ないと感じています、また放課後児童クラブや児童館との交流は行なうことが現在できておりません	放課後児童クラブや児童館がご近隣にございませんので交流する機会を持つことが難しい現状です。安全面を考慮したうえで以前は地域のお子様と交流する機会を設けておりましたが現在は事業所以外で行事等を行なっているため現状では難しいと考えています	地域で開催されるイベントや他事業所との交流会などの参加を通して、お子様がさまざまな体験ができるよう努めています
3			